・ノノ・コ		— -			とい 1041/ラナー	授業科目 1	ソフトウェ゙	ノエナ
<u>冶海</u> 科目基础	工業高 本情報	<u></u>	交 開講年度	夏 平成30年度(2		JAKITE		
		2010	100		科目区分	±00 / 3315	7	
科目番号		2018-	408	<u>8</u>		専門/選択		
受業形態 授業						学修単位:	1	
開設学科 制御情報工			報工学科	工学科			5	
開設期 前期				週時[]数 前期:2		
教科書/教	树	なし						
旦当教員		(S科	· 非常勤講師),丸 Ϡ	惟光				
到達目	 票							
1. ソフ 2. 実現	トウェア すべき機能	開発工程を一 能の特定、実 が意図通りに	通り実践できる。 現手段の分析・設 動作したときの感	実現に至るまでの過程 計の手段としてUML 動、喜びを体験できる	は、各工程の目的、実施 (Unified Modeling)。	他内容について! Language)を	里解できる。 活用できる。	
レーブ!	リック							
			理想的な到達	レベルの目安	標準的な到達レベル	の目安	未到達レベル	の目安
1. ソフトウェア開発工程を一通 り実践できる。実現に至るまでの 過程、各工程の目的、実施内容に ついて理解できる。			-通 □実現に至る - の目的、実施 - は、理解しており	理想的な到達レベルの目安 □実現に至るまでの過程、各工程 の目的、実施内容について十分に 理解しており、ソフトウェア開発 工程を一通り実践できる。		□実現に至さり、000日気 □実現に至るまでの過程、各工程 の目的、実施内容について理解し ており、ソフトウェア開発工程を ほぼ一通り実践できる。		るまでの過程、各工程 西内容について理解し ノフトウェア開発工程 い。
2. 実現すべき機能の特定、実現 手段の分析・設計の手段として UML (Unified Modeling Language) を活用できる。			段の分析・設	□実現すべき機能の特定、実現手 段の分析・設計の手段として UMLを正しく活用できる。 □実現すべ 段の分析・ UMLを正しく活用できる。 UMLを活用				を機能の特定、実現手 計の手段として ごきない。
3. ソフトウェアが意図通りに動作したときの感動、喜びを体験できる。			動 □ソフトウェ させることが 体験できる。	□ソフトウェアを意図通りに動作 させることができ、感動、喜びを 体験できる。 □ソフトウェアをほぼ意! 動作させることができ、! びを体験できる。			□ソフトウェ させることか を体験できな	ニアを意図通りに動作 ができず、感動、喜び い。
学科の3	到達目標	頭目との	 関係					
教育方法		100 (1111-2	•,,,,					
既要		本教科 、将来	、竜丸、機械など1 では、ソフトウェブ の糧となる知識を	ア開発工程を一通り実	す者にとってもソフト 践する。この体験を追	通して、ソフトウ	が現である。 フェア開発とい 	いう作業について学び
	<u>め方・方</u>	1 計馬	 険や課題レポート等	fは、JABEE 、大学評	価・学位授与機構、対	て部科学省の教育	育実施検査に使	用することがありま
受業の進 主意点 受業計画		1. 試馬 す。 2. 授業	業参観される教員は	は当該授業が行われる!	価・学位授与機構、3 少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢	教科目担当教員/	育実施検査に使	見用することがありま ごさい。
注意点		1. 試馬 す。 2. 授業	業参観される教員は	は当該授業が行われる!	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢	教科目担当教員/	へ連絡してくた	見用することがありま ごさい。
注意点		1. 試 す。 2. 授 3. 演	業参観される教員は 習レポート45%、	は当該授業が行われるが 後期試験45%、授業類	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週	教科目担当教員/ らで評価)10%	へ連絡してくた	ごさい。
注意点		1. 試調す。 2. 授 3. 演 週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容	は当該授業が行われるが 後期試験45%、授業類	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。 本	教科目担当教員の で評価)10% ごとの到達目標	へ連絡してくた	ごさい。
注意点		1. 試調 2. 授資 3. 週 1週 2週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ	当該授業が行われる!後期試験45%、授業航	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。 本: UN	教科目担当教員会で評価)10% ごとの到達目標 教科の目的、目 1L概要について	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明できる	だ理解できる
注意点		1. 試調 す。 2. 授績 3. 演 週 1週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ	当該授業が行われる!後期試験45%、授業航	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本 UN	教科目担当教員会で評価)10% ごとの到達目標 教科の目的、目 1L概要について	へ連絡してくた 標、授業計画を説明できるの目的を決め、	だ理解できる
注意点	画	1. 試調 す。 2. 授演 3 . 週 1週 2週 3週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機	当該授業が行われる!後期試験45%、授業航	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本: UN 火 定	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、目 11概要について フトウェア開発 することができ	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明できる の目的を決め、 る	を理解できる 実現すべき機能を特
意点		1. 試馬 す。 2. 授演 3 . 週 1週 2週 3週 4週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機能 分析(構造)	当該授業が行われる!後期試験45%、授業航	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本 UN ソ 定	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標数科の目的、目標が表別では、またのでは、またいでは、またいでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またのでは、またの	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明できる の目的を決め、 る 義することがで	ださい。 を理解できる 実現すべき機能を特
意点	画	1. 試調 2. 沒 3. 授演 週 1週 2週 3週 4週 5週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機 分析(構造) 分析(構造)	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本 UN ソ 定 ク	数科目担当教員。 で評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、目 ル概要について フトウェア開発 することができ ラス、関連を定 ラスの責務を検	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明できる の目的を決め、 る 義することがで 証することがで	ださい。 を理解できる 実現すべき機能を特 できる できる
注意点	画	1. 試馬 す。 2. 授演 3 . 週 1週 2週 3週 4週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機能 分析(構造)	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本 UN ソ 定 ク	数科目担当教員。 で評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、目 ル概要について フトウェア開発 することができ ラス、関連を定 ラスの責務を検	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明できる の目的を決め、 る 義することがで 証することがで	ださい。 を理解できる 実現すべき機能を特 できる できる
注意点	画	1. 試調 2. 没演 3 . 海 3 . 海 4 週 4 週 5 週 6 週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機能 分析(構造) 分析(構造)	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本 UN ソ定 ク ク	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標数科の目的、目標数科の目のいてフトウェア開発することができるス、関連を定うスの責務を検げジェクトの協ることができる	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明できる の目的を決め、 る 義することがで 証することがで 調動作を検討し	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる レ、クラス定義を更新
意点	画	1. 試調 2. 没演 3 . 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	業参観される教員は 習レポート45%、 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機能 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本 UN ソ定 ク ク オす	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標数科の目的、目記機要についてファースをある。 ファスの責務を検げることができることができることができるコグラムを設計	へ連絡してくた標、授業計画を説明できるの目的を決め、る載することができ調動作を検討しすることができ	を理解できる 実現すべき機能を物できる できる できる し、クラス定義を更新
受業計画	画	1. 試調 2. 設演 3 . 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	業参観される教員は 図レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。 本 UN ソ定 ク ク オす	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標数科の目的、目別でででででいてのできること関連を定じる人の責務を検げがまたのできることができることができることができることができることができることができることができるコグラムを設計	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明できる のる 義することがで 調動作を検討し することができる ことができる ことができまることができまることができまることができまることができまる ことができまる かいことができまる ことができまる かいことができまる ことができまる ことができまる ことができまる ことができる ことができる ことができる ことができます ある ことができます ある ことができます ある ことができます ある ことができます ある ことができます また しょう はんしょう しょう はんしょう しょう はんしょう はんしょ はんしょく はんしょく はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新
受業計画	画	1. 計算 2. 3. 過 1. 1 寸 2. 3 . 過 3 週 4 週 5 週 6 週 7 週 8 週 9 週	業参観される教員は 図レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計 実装	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。 本 UN ソ プ ク オ す プ	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、目 ル概要について フトること関連を定 ラス、関連を定 ラス、関連を定 ブジェクトの協 コグラムを設計 コグラムを設計	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明できる のる 義することがで 調動作を検討し することができることができる ことができ グラミングする	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる きる
受業計画	画	1. 試調 2. 3. 3. 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機能 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計 実装 実装	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本 UN ソ定 ク ク オす プ 設	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標数科の目的、目標数科の目のいて フトマンができる、関連を定うス、関連を定うス・クトできることがのきるコグラムを設計コグラムを設計コグラムを設計コゲラムを設計	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明できるの 高	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる きる さことができる ることができる
受業計画	画	1. 計算 2. 3. 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	#参観される教員は 図レポート45%、 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計 実装 実装	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。本 UN ソ定 ク ク オす プ 設 設	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標数科の目的、目標数科の目的、目標ででででである。 関連をを検げることがをを定うスの責務を検げることがを設計である。 コグラムを設計 コグラムを設計 コグラムを設計 計に従ってプロー計に従ってプロー計に従ってプロー	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明目的を決め、 る 義することがで 調動作を検討し することとができ することとができ グラミングする グラミングする	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる きる ることができる ることができる ることができる
主意点 受業計[画	1. 試調 2. 3. 3. 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	業参観される教員は 習レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機能 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計 実装 実装	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。 本 UN ソケ ク オすプ プ 設 設 設	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、 でで評価)20% がおります。 では、 のででででででは、 のででででででででででいる。 のでででいる。 のででいる。 のででいる。 のでいる。 のでいる	へ連絡してくた 標、授業計画を 説明目的を決め、 る義することがで 調動作をとができる こととができる プラミングする グラミンクする グラミントウェブ	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる ることができる ることができる ることができる ることができる アをテストすることか
主意点	画 1stQ	1. 計算 2. 3. 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	業参観される教員は 図レポート45%、 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計 実装 実装 実装	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。 本 UN ソケ ク オすプ プ 設 設 で プ で プ	教科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 教科の目的、 で評価)20% で評価)10% ごとの到達目標 教科の目のいて フトることがを表現する。 フラングラムを設計 計に従っ フラグラーング いて プラング でがなる こ ご ご ご ご ご ご ご ご ご	で連絡してくた。 標、授業計画を 説明できるのる のる。 義することができる。 表することができる。 を対けてきなができる。 ができる。 グラミントウェスクランフトウェスクランフランフトウェスクランフトウェスクランフトウェスクラスクラスクラスクラスクラスクラスクラスクラスクラスクラスクラスクラスクラス	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる きる さる さる
注意点	画 1stQ	1. 計算 2. 3. 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	業参観される教員は 図レポート45%、 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計 実装 実装 テスト テスト	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。本 UN ソクラック カオナプ プロック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファ	教科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 教科の目的、 でで評価)20% がおります。 でで評価)30% でで評価)10% でで評価)10% でで評価)10% でで評価)10% でで評価)10% でで評価)20% でで記してアージーができる。 に従ってアージーがに従う。 ころうう。 ころううことがした。 ころううことがした。 ころううことがした。 ころううことがした。 ころううことがした。 ころううことがした。 ころうことがした。 ころうことがいる。ころうことがいる。 ころうことがいる。ころものころものころ。	に連絡してくた。 標、授業計画を 説明できみめ、 義することがでいます。 養することができます。 できることができます。 がができます。 グブラミント・ウェブグヴェスクラン・クリーク・ファブクラン・ファック・ファブラン・ファック・ファブラン・ファン・ファー・ファファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・フ	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる さる ことができる ることができる ることができる アをテストすることか
受業計画	画 1stQ	1. 計算 2. 3. 過 3. 過 3. 過 4. 過 5. 過 6. 過 7. 過 8. 週 9. 週 10. 週 11. 週 12. 』 13. 週 14. 週	業参観される教員は 図レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(要求、機) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計 実装 実装 テスト テスト	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちない。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。本 UN ソクラック カオナプ プロック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファ	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、 で評価)20% で評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、 で別では、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。	に連絡してくた。 標、授業計画を 説明できみめ、 義することがでいます。 養することができます。 できることができます。 がができます。 グブラミント・ウェブグヴェスクラン・クリーク・ファブクラン・ファック・ファブラン・ファック・ファブラン・ファン・ファー・ファファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・フ	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる さる ことができる ることができる ることができる アをテストすることか
受業計[重 1stQ 2ndQ	1. 計算 2. 3. 测 3 测 3 测 4 测 5 测 6 测 8 测 9 测 10 测 12 测 13 测 14 测 15 测 16 测	#参観される教員は 図レポート45%、 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計 実装 実装 テスト テスト デスト	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額の表現を対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。本 UN ソクラック カオナプ プロック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファ	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、 で評価)20% で評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、 で別では、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。	に連絡してくた。 標、授業計画を 説明できみめ、 義することがでいます。 養することができます。 できることができます。 がができます。 グブラミント・ウェブグヴェスクラン・クリーク・ファブクラン・ファック・ファブラン・ファック・ファブラン・ファン・ファー・ファファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・フ	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる さる ことができる ることができる ることができる アをテストすることか
受業計画 ジェル・コード アン・デル・コード アン・デル・コード アン・デル・コード アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア	重 1stQ 2ndQ	1. itil 語 2. itil 語 3. i	#参観される教員は 図レポート45%、 授業内容 オリエンテーショ UML 分析 (構造) 分析 (構造) 分析 (振る舞い) 設計 設計 実装 実装 テスト テスト テスト 総括	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちます。 (登集) (登集) (登集) (登集) (登集) (登集) (登集) (登集)	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。本 UN ソ定 ク ク オす プ 設 設 で プ で プ で プ で プ で (/ / の	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、 で評価)20% で評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、 で別では、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。	に連絡してくた。 標、授業計画を説明できるののる義することができることとができます。 証調動作をとができることとができるラミンングウラミンンウェスクラー・ウェスクラー・ウェスクラー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる ることができる ることができる ることができる アをテストすることだ アをテストすることだ
受業計画 ブルニテカ	画 1stQ 2ndQ	1. 計算 2. 3. 测 3 测 3 测 4 测 5 测 6 测 8 测 9 测 10 测 12 测 13 测 14 测 15 测 16 测	#参観される教員は 図レポート45%、 授業内容 オリエンテーショ UML 分析 (構造) 分析 (構造) 分析 (振る舞い) 設計 設計 実装 実装 テスト テスト テスト ポインテーショ の学習内容と到	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額の表現を対象を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。本 UN ソ定 ク ク オす プ 設 設 で プ で プ で プ で プ で (/ / の	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、 で評価)20% で評価)10% ごとの到達目標 数科の目的、 で別では、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でいる。	に連絡してくた。 標、授業計画を説明できるののる義することができることとができます。 証調動作をとができることとができるラミンングウラミンンウェスクラー・ウェスクラー・ウェスクラー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる ことができる ることができる ることができる ることができる のことができる のことができる のことができる のことができる のことができる のことができる
受業計画 ブルニテカ	画 1stQ 2ndQ	1. ig 2. ig 3 ig 3 ig 3 ig 3 ig 3 ig 4 ig 5 ig 6 ig 6 ig 7 ig 8 ig 6 ig 7 ig 8 ig 6 ig 7 ig 8 ig 6 ig 7	業参観される教員は 図レポート45%、2 授業内容 オリエンテーショ UML 分析(構造) 分析(構造) 分析(振る舞い) 設計 設計 実装 実装 テスト テスト テスト テスト デスト デスト デスト	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ち、投業制金額を持ちます。 おいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま は	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。本 UN ソファククオすプ プロックを ファッを ファッを ファッと ファッを ファ ファ ファ ファ ファ ファ ファ ファ ファ ファ ファ ファ ファ	数科目担当教員をで評価)10% ごとの到達目で、 を	に連絡してくれた。 標、現業計画を 標、明明の 高くでする。 でいた。ととと検ができる。 では、かができる。 では、かができる。 がががグググウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・カー・ク・カー・ク・カー・ク	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる できる ことができる ることができる ることができる ることができる アをテストすること
・ 意点 受業計画 が	画 1stQ 2ndQ	1. ig 2. ig 3. ig ig 2. ig 3. ig ig 2. ig 3. ig ig 3. ig ig 3. ig ig 4. ig 3. ig ig 4. ig 3. ig ig 4. ig 3. ig ig 5. ig 6. i	#参観される教員は 図レポート45%、 授業内容	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちるが、投業制金額を持ちます。 ・	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本 UN ソ定 ク ク オす プ 設 設 で プで 「プで 「プで 「プで 「人」	数科目担当教員で評価)10% ごとの到達目標 数科のの目的、いて対するののでである。 できるのでである コグラムをでいる コグラムをでいる コグラムをでいる コグラム でで できる できる できる アプラング プログラム でん でん アプブ プログラング ファッション グラング ファッション グラング ファッション グラング ファッション グラング アファック アッション アック	に連絡してくれた。 標、授業計画を 標、明明のである。 表すすをとと検ができる。 できることとなができる。 ググラランファークできる。 ググクウェークできる。 できる。 ググクウェークできる。 できる。 ググクウェークできる。 できる。 できる。 できる。 ググクウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる こ、クラス定義を更新きる ことができる ることができる ることができる アをテストすることが アをテストすることが アをテストすることが アをテストすることが
が期のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	画 1stQ 2ndQ	1. ig 2. ig 3 ig 3 ig 3 ig 3 ig 3 ig 4 ig 5 ig 6 ig 6 ig 7 ig 8 ig 6 ig 6 ig 7 ig 6 ig 7 ig 6 ig 7 ig 7	#参観される教員は 図レポート45%、 授業内容	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちている。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。 本 UN ソ定 ク ク オ プ プ で プで プで ば (成	数科目担当教員で評価)10% ごとの到達目標 数科のの目的、いて対するののでである。 できるのでである コグラムをでいる コグラムをでいる コグラムをでいる コグラム でで できる できる できる アプラング プログラム でん でん アプブ プログラング ファッション グラング ファッション グラング ファッション グラング ファッション グラング アファック アッション アック	に連絡してくれた。 標、現業計画を 標、明明の 高くでする。 でいた。ととと検ができる。 では、かができる。 では、かができる。 がががグググウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・ウ・カー・ク・カー・ク・カー・ク	を理解できる 実現すべき機能を特できるできる できる できる ことができる ることができる ることができる アをテストすることか アをテストすることか アをテストすることか
が期のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	画 1stQ 2ndQ	1. ig 2. ig 3. ig ig 2. ig 3. ig ig 2. ig 3. ig ig 3. ig ig 3. ig ig 4. ig 3. ig ig 4. ig 3. ig ig 4. ig 3. ig ig 5. ig 6. i	#参観される教員は 図レポート45%、 授業内容	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちるが、投業制金額を持ちます。 ・	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週 本 UN ソ定 ク ク オす プ 設 設 で プで 「プで 「プで 「プで 「人」	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 製	に連絡してくれた。 標、授業計画を 標、明明のである。 表すすをとと検ができる。 できることとなができる。 ググラランファークできる。 ググクウェークできる。 できる。 ググクウェークできる。 できる。 ググクウェークできる。 できる。 できる。 できる。 ググクウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク・ウェーク	を理解できる 実現すべき機能を特できる できる できる し、クラス定義を更新 きる ることができる ることができる ることができる アをテストすることか アをテストすることか
主意点 受業計 可期	画 1stQ 2ndQ	1. ig 2. ig 3. ig ig ig 2. ig 3. ig	#参観される教員は 図レポート45%、 授業内容	当該授業が行われるが後期試験45%、授業制金額を持ちている。	少なくとも1週間前に 態度(授業への積極姿勢 週。 本 UN ソ定 ク ク オ プ プ で プで プで ば (成	数科目担当教員ので評価)10% ごとの到達目標 は	に連絡してくれた。 標、授業計画を 説明のる 義するととができる。 さることとがができる。 できるフララミンンンクウェブラランフフトウェブランフフトウェブランフフトウェブランフフトウェブランフファクウェブランフファクウェブランフファクウェブランフファクロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークローク	を理解できる 実現すべき機能を特できるできる できる できる ことができる ることができる ることができる アをテストすることか アをテストすることか アをテストすることか